

令和3年度 学校教育自己診断 分析

生徒	(阪南高校に入ってよかった)	肯定率	83%
保護者	(阪南高校に入学させてよかった)	肯定率	88%

生徒の肯定率は昨年度より5ポイント上回っており、コロナ禍においても、生徒たちにとって満足できる学校生活であったと推察できる。これからも高く評価され、愛される学校となることが重要である。

保護者	(学校は家庭への連絡や意思疎通をしっかりと行っている)	肯定率	76%
教職員	(必要な情報について、生徒・保護者や地域への周知に努めている)	肯定率	93%

コロナ禍においても、メルマガに学校情報を掲載し、定期的に配信したことが評価されると推察できる。今後も、保護者や地域の方々としっかり両手をつなぎ、その真ん中に生徒がいる学校にしていきたい。

(授業関連)

肯定率 生徒 77% 教職員 84% 保護者 66%

昨年度に比べ、生徒の肯定率は11ポイント、教職員の肯定率は15ポイント、それぞれ上がった。各教室にプロジェクターなどの機器がないなか、教職員が各自で工夫し、「わかる授業」「できる授業」を行った証左であると推察する。今後は、プロジェクターやモニターなどの整備充実を図っていきたい。

(進路関連)

肯定率 生徒 81% 教職員 80% 保護者 67%

学校の進路指導は一定評価いただいている。大学入試定員の厳格化の影響があり、やや大学合格者数が減少した時期もあったが、今年度は有名大学の合格者も増加し、V字回復の兆しが見えてきた。この傾向を引き続き保ちたい。

(人権教育関連)

肯定率 生徒 80% 教職員 83% 保護者 71%

いじめ未然防止委員会の定期的な開催をはじめ、教育相談委員会も今年度は各定期考査前にも開催し、生徒の情報共有に努めた。生徒が安全で安心できる学校であり続けたい。